

目指す学校像「すべての子供の活躍の舞台 日野第八学校！」



# 学校だより

2月号

日野市立日野第八小学校  
校長 船山 徹

令和8年1月30日発行

電話 042-591-2411 ファクシミリ 042-591-2412

<https://www.hino-tky.ed.jp/e-hino8/>

## 様々な体験を通して、一步步成長する子供たち

副校長 西山 貴広

先日実施いたしました今年度最後の学校公開ならびに道徳授業地区公開講座には、多くの皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。教室で自分の考えを積極的に発表したり、友達と教え合いながら熱心に学習に取り組んだりする姿をご覧いただけたことと思います。一年間のまとめの時期を迎え、集団の中で切磋琢磨しながら学びを深めていく子供たちの表情には、年度当初とは違う確かな成長の跡が見て取れました。

また、異学年交流「なかよしプレイタイム」の参観にお越しいただいた皆様も、ありがとうございました。活動では、高学年が下級生を優しくリードし、低学年はその期待に応えて精一杯楽しむ姿が見られました。そこへ、中学年がムードメーカーとして加わり、明るい声掛けで全体を盛り上げるなど、各学年にそれぞれの役割がある中で、一人一人が自分の役割をしっかりと果たして取り組んでいました。多様な集団の中での「関わり」の体験は、子供たちの自覚や思いやりの心を育てる大切な機会となっています。

こうした子供たちの主体的な活動は、皆様の多大なるご支援によって支えられています。学校行事の折々で様々なお手伝いをしてくださる PTA の皆様、学校公開の受付や「なかよしプレイタイム」の準備等でご協力いただいた「八小お助けしよう隊」の皆様をはじめ、保護者・地域の皆様が多方面で力を貸してくださっていることに、深く御礼申し上げます。

学校便り1月号でもお伝えいたしました通り、本校では来年度より「コミュニティ・スクール制度」を導入いたします。これまで大切にしてきた地域とのつながりを基盤に、学校・家庭・地域の三者が共通の目標をもち、これまで以上に一体となって子供たちを育てていく体制を整えてまいります。

今年度、本校が重点的に進めてきた「地域をフィールドとした学び」も、まさにこの連携の姿の一つです。生活科や総合的な学習の時間における校外学習では、多くの保護者の皆様に見守りのご協力をいただいたことで、子供たちは本物の体験を重ねることができました。実際に自分の目で見て、地域の方々の生の声を聞くという「実感を伴う体験」を通すことで、知識はより深く自分自身のものになります。こうした様々な体験の積み重ねは、子供たちの好奇心を刺激し、社会の一員としての自覚を育む大きな原動力となります。こうした経験を経て、子供たちは今、自信をもって自分たちの考えを発信しようとするまでに成長しています。

明後日から始まる2月、3年生と4年生においては、これまで地域での体験を通して探究してきた成果発表会を予定しております。自分たちの住む地域の魅力を再発見し、深めてきた学びを、各学年の保護者や地域の皆様にとしっかりと伝えてくれることでしょう。

そして、3月には「ESD ミーティング」を開催いたします。地域や社会とつながりながら、自分たちの生活や未来について真剣に考え、行動してきたプロセスを共有する大切な場です。様々な体験を通して一回りたくましくなった子供たちの姿を、保護者や地域の皆様も、ぜひご参観ください。なお、開催日時等の詳細につきましては、改めてご案内いたします。

子供たちの成長は、学校・家庭・地域が手を取り合い、豊かな体験の場を共に創り上げていく中でこそ、より確かなものとなります。今後とも、子供たちが広い世界へと視野を広げ、健やかに育っていきけるよう、引き続き、温かなご支援とご協力をお願いいたします。

## 【2月の行事予定】

日	曜	行 事 予 定	1年	2年	3年	4年	5年	6年
2/1	日							
2	月	挨拶週間始 委員会活動 ステップ授業参観始	5	5	5	5	6	6
3	火	藤井 SC	5	5	6	6	6	6
4	水	安全指導 笑顔と学びの体験活動プロジェクト	5	5	5	5	5	5
5	木	みさわ保育園・わかき幼稚園交流(1年)	5	5	6	6	6	6
6	金	挨拶週間終 八小まつり 小中交流会(6年) 佐藤 SC	4	5	5	6	6	6
7	土							
8	日							
9	月	クラブ活動(3年クラブ見学)	5	5	6	6	6	6
10	火	浅川見学(1、2年) 藤井 SC	5	5	6	6	6	6
11	水	建国記念の日						
12	木	体育集会 なかよしタイム週間	5	5	6	6	6	6
13	金	読み聞かせ(1、2年)	4	5	5	6	6	6
14	土							
15	日							
16	月	クラブ活動	5	5	5	6	6	6
17	火	藤井 SC	5	5	6	6	6	6
18	水	成果と感謝を伝える会(4年)	4	4	4	4	4	4
19	木	ゲーム集会(なかよし班)	5	5	6	6	6	6
20	金	読み聞かせ(3、4年) 着物と礼法講座(5年) 佐藤 SC	4	5	5	6	6	6
21	土							
22	日							
23	月	天皇誕生日						
24	火	藤井 SC	5	5	6	6	6	6
25	水	なかよしプレイタイム 6年生を送る会会場準備(5年)	5	5	5	5	5	5
26	木	音楽集会	5	5	6	6	6	6
27	金	読み聞かせ(5年) ステップ6年指導終 感謝と成長を伝える会(3年)	4	5	5	6	6	6
28	土							

※2月の避難訓練は、児童への予告なしで実施します。

年間目標		すすんであいさつをしよう
2月	生活目標	すすんで仕事をしよう
	保健目標	心の健康について考えよう
	給食目標	しっかり食べて 元気な体と心をつくろう

### 【なかよしタイム週間について】

なかよし班の6年生に向けて、1～5年生が1年間の感謝の気持ちを手紙に書きます。書いた手紙は学級ごとに模造紙に貼って、各学年の代表児童が6年生に届けに行く予定です。

# 学校評価の結果

本校では、教育活動の充実に役立てるため、1学期末と2学期末に学校評価を行っております。1学期末は児童と教職員による評価を、2学期末はそれに加えて、保護者の皆様からも評価をいただきました。ご協力ありがとうございました。12月に実施しました児童アンケートと保護者アンケートの結果、及びその分析についてご報告いたします。

2学期 児童へのアンケート結果			
	学校アンケートの設問	1学期 肯定的評価	2学期 肯定的評価
①	総合的な学習の時間の学習では、地域のことから課題を見付け、仲間とともに解決に向けて取り組んでいます。	83.9%	93.7%
②	授業では、めあての達成に向けて取り組み、自分の学習を振り返っています。	85.6%	89.3%
③	なかプレでは、自分が思いついたことややってみたいことを伝えたり、下の学年に声を掛けたりして、自分の役割を果たしています。	80.0%	82.6%
④	行事や学級会などで、自分の考えを伝えたり、みんなで話し合ったことをやってみたりして、学年や学級をもっと楽しくしようとしています。	81.8%	88.9%
⑤	友達を大切にし、誰とでも仲良くしようとしています。	95.5%	94.5%
⑥	困った時には、周りの人に相談しています。	78.3%	80.2%
⑦	「やってみよう・やりとげようーレッツ・トライー」の目標の達成に向けて取り組んでいます。	89.3%	95.1%

2学期 保護者へのアンケート結果			
	学校アンケートの設問	2学期 肯定的評価	
①	本校の児童は、生活科の学習や総合的な学習の時間で、地域の方々や自然と関わり、様々な体験をしている。	98.1%	
②	本校の児童は、自分で考えたり、工夫したりして、学習課題の解決に向けて主体的に学習している。	86.7%	
③	本校の児童は、なかプレの活動などで、下級生や上級生と楽しく関わり、自分の学年の役割を果たそうとしている。	90.5%	
④	本校の児童は、クラブ・委員会や各行事または学級の中で、自分たちのやりたいことを話し合っ決めてたり、実行したりしている。	86.7%	
⑤	お子さんは、いろいろな個性をもった友達を大切にし、誰とでも仲良くしようとしている。	86.7%	
⑥	お子さんは、困った時には周りの人に相談できる。	82.9%	
⑦	お子さんは、今年度の目標「やってみよう・やりとげようーレッツ トライー」を意識して、その達成に向けて取り組んでいる。	74.7%	

(水色は85%以上)

【児童・保護者アンケートについての考察】 ○成果 △課題

○どの項目も高いポイントが得られ、ほとんどの項目が肯定的評価80%以上である。本校の目指している教育活動が、児童にも実感として届いていると言えるのではないかと。特に今年度、校内研究で取り組んだ「生活科」「総合的な学習の時間」での地域とのつながりを意識した活動には、児童のみならず保護者の方々からも高い評価をいただくことができた。

△本校では今年度、「やってみよう・やりとげようーレッツ・トライー」を児童と教職員の共通の目標に掲げ、児童を主体とする教育活動を工夫してきた。その取り組みについては、児童は2学期には肯定的評価95%と高く評価している。しかし、保護者の方々には75%程度にとどまった。今後も本校の教育活動を分かりやすく保護者に伝えるよう、工夫を重ねることが求められる。

保護者アンケートは、回答していただいたご家庭が158件と、34%にとどまった。保護者の方々にも、さらに学校教育に興味・関心をもち、参画していただけるよう工夫していく必要がある。

以上の分析を基に、課題を整理し、改善点を検討しながら来年度の教育課程、教育計画を作成してまいります。たくさんのご意見、本当にありがとうございました。

## 避難訓練の取り組みについて

本校では年間を通して、地震や火災、不審者対応の訓練等を行っています。実際の場面を想定した訓練をするだけでなく、日野警察の方や日野消防団の方をお招きして、どのように避難することが大切なのかを話していただく取り組みも行いました。

1月～3月は、子供たちに予告なしの避難訓練となります。有事の際に、適切な行動がとれるように、子供も教職員も訓練に臨んでいます。



## 【異学年交流】なかよしプレイタイムの様子

本校では、異学年で様々な運動遊びに取り組み、学年を越えて関わり合いながら、「今よりもっと楽しい学校」を目指して活動を行ってきました。

各学年には役割があり、一人一人がその役割を意識しながら活動に取り組みました。6年生はリーダーとして、全ての学年が楽しむことができるように遊びの計画を立て、活動を引っ張ってきました。活動後には振り返りを行い、もっと楽しい遊びになるにはどうすればよいかを考え、次の活動に生かすことができました。5年生はサブリーダーとして、用具の片付けや、6年生のフォローを率先して取り組みました。4年生は、「自分たちにできることは何か」と考え、6年生の呼びかけに明るく反応し、楽しい雰囲気をつくり出しました。3年生は、下級生に積極的に声をかけて、1、2年生が安心して活動に取り組めるようにしました。2年生は、活動が終わった後に、1年生を教室に送る役割を担うことで、お兄さん、お姉さんとしての自覚が高まりました。1年生は、上級生の話をよく聞き、ルールを守りながら楽しんで遊ぶことができるようになりました。このように、各学年が自分の役割を果たし、協力し合うことで、「今よりもっと楽しい学校」に近づくことができたと感じています。



また、本校の教育活動をいつも支えてくださっている「八小お助けしよう隊」の皆様には、毎回の活動で用具の準備や、子供たち活動の見守りをしていただきました。活動後には、子供たちの様子を踏まえた貴重なご意見をいただき、その声を生かすことで、回を重ねるごとに活動がより充実したものとなりました。今後も子供たち、地域の方、教職員が力を合わせながら、充実した活動となるよう、取り組んでまいります。

## 令和7年度 第3回学校運営連絡協議会

1月17日(土)の学校公開に合わせ、本年度「第3回学校運営連絡協議会」を開催いたしました。協議会では、学校評議員の皆様、保護者・児童・教職員による「学校評価結果」および「学校経営重点計画」の達成状況についてご確認いただきました。その後、2校時の授業をご参観いただき、協議の中では次年度の学校経営に向けた貴重なご意見を賜りました。



10名の評議員の皆様には、これまでも学校行事をはじめ、折に触れて本校へ足を運んでいただき、多方面から教育活動を支えていただきました。この一年のご支援に心より感謝申し上げます。以下に、協議会でいただいたご意見の一部を紹介いたします。

- 小学校における地域との豊かな連携は、多様な体験を支える基盤であり、こうした活動が子供たちの自己肯定感につながっている。今後も地域を基盤とした持続的な学習体制を大切にしてほしい。
- 教員の「子供の主体性を引き出そうとする授業改善への意欲」が高い。こうした熱心な指導が、日々の学習における子供の確かな成長につながっている。
- 子供の「やりたい」という意欲を支える教員の熱心な姿勢や、思考を促す言葉掛け、掲示物の工夫が随所に見られる。子供たちが自分たちの力で活動をつくり出せるよう、個々の発想を大切に受け止めてほしい。
- 様々な課題を抱える子供たち一人一人を温かく包摂し、誰もが本来の力を発揮できる安心感のある環境作りを一層推進していく必要がある。
- 教員と子供の肯定的な評価に差がある現状を受け、アンケートの数字の裏にある子供の心理を深く考察する必要がある。直接対面して言葉を交わす効果を重視し、複数の大人が子供の小さな困り感を丁寧に受け止める体制を構築してほしい。